

市民活動実態調査(ヒアリング)結果概要

・実施期間: H27.5.21~H27.6.28

・実施団体: 8団体

資料3

	活動日数	年間支出	会員数	役員数	参加ボランティア	課題(上位3つ)	課題(キーワード)	市やセンターに期待すること
1 団体A	50日以上100日未満	10万以上50万未満	20人以上50人未満	5人以上10人未満	100人以上500人未満	・会員・ボランティア募集・対応 ・助成金等の獲得 ・事業の企画作り	<p>&lt;拠点&gt; 特例として団地の集会所を借りて活動(定例的に使用できるが使用料の減免は受けられない)／椅子の置き場がない</p> <p>&lt;事業面&gt; 男性の参加者が少ない／高齢者だけでなく子ども等多世代が集まる場に</p> <p>&lt;資金面&gt; 参加費の値上げは難しい／企業・事業者の協賛は中立性が保てなくなるかも／自主収入の必要性は言われるが、なかなか取り組むことが難しい</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣の幼稚園・保育園とのつなぎ役をしてほしい</li> <li>・手話を教えてくれる人を紹介してほしい</li> </ul>
2 団体B	100日以上200日未満	50万以上100万未満	50人以上100人未満	5人未満	500人以上	・人材育成 ・寄附集め ・組織内コミュニケーション	<p>&lt;人材&gt; 定常的な活動量の維持の難しさ／60代のメンバー増強／新しいアイデアを持つ若い世代の活用／イベント時の人集めの大変さ／お客さんでなく担い手を増やす工夫(主体的に関わる醍醐味を伝えたい)／</p> <p>&lt;資金面&gt; 事務局は無償ボランティア。予算規模の拡大にはこだわらない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シニア層へのアプローチ(広報紙でのシニア層をターゲットにした特集ページなど)</li> <li>・広報・集客に特化した支援(プログラムの実施に集中できるよう、広報や集客部分のサポートを)</li> </ul>
3 団体C	50日以上100日未満	50万以上100万未満	10人以上20人未満	5人未満	10人以上20人未満	・活動場所・拠点の確保	<p>&lt;広報・PR&gt; 紙媒体の情報源は重要(ネット+αの情報)／広告が多い紙面構成のため営利との誤解を招きがち、必要とされる場所に広報紙を配置できないケースも</p> <p>&lt;活動拠点&gt; 母親を外に連れ出す方策として、常設の拠点の確保の必要性→空きビルを賃料0、光熱水費負担で借用できることに</p> <p>&lt;資金面&gt; 広告費収入により賄っている</p> <p>&lt;人材&gt; 発足時のコンセプトを保つことの難しさ(子どもの成長とともに変化するママ目線)／当事者精神を忘れず、身近な気づきや情報を記事に反映／人の気持ちをつなぐ組織運営</p> <p>&lt;組織マネジメント&gt; 法人化を検討中だが、予算作成にあたり雇用とボランティアの違いなど判断に迷う部分も</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政との関わりをもっと持ちたい(乳幼児健診の時にアピールするなど)</li> <li>・市が行っているサービス等についてユーザー目線での声を集められたり、逆に媒体を使って発信できたりするので、市にも活用してほしい</li> </ul>

市民活動実態調査(ヒアリング)結果概要

・実施期間: H27.5.21~H27.6.28

・実施団体: 8団体

資料3

	活動日数	年間支出	会員数	役員数	参加ボランティア	課題(上位3つ)	課題(キーワード)	市やセンターに期待すること
4 団体D	200日以上 300日未満	100万以上 500万未満	5人以上 10人未満	5人未満	10人以上 20人未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の周知広報</li> <li>・会員・ボランティア募集・対応</li> <li>・組織内コミュニケーション</li> </ul>	<p>&lt;広報・PR&gt; ネット媒体による広報の限界、地に足のついた広報戦略</p> <p>&lt;資金調達&gt; 収益事業の必要性(企業と連携、ソーシャルビジネス)</p> <p>&lt;人材育成&gt; 関心のありそうな子育て層やシニア層をターゲットにした働きかけ/教育の場での活用(PTAや学校との連携)</p> <p>&lt;組織内コミュニケーション&gt; 基本的に1人が中心となって動き、後のメンバーは緩やかな関係性。スポット的に集まり知恵を出し合う場が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市や大学との連携強化</li> <li>・人、情報の集まる場づくり(多様なNPOとの交流、研修の機会)</li> </ul>
5 団体E	100日以上 200日未満	100万以上 500万未満	20人以上 50人未満	5人未満	500人以上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成金等の獲得</li> </ul>	<p>&lt;人材育成&gt; 子育ての質の変化(主体性の低さ、コミュニティを作るモチベーションの低さ)/人間関係力の希薄さ/中心メンバーの世代交代へのカウントダウン</p> <p>&lt;資金面&gt; 人件費の捻出、少ない金額でもやりがいある活動を</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て関連施設の増強</li> <li>・点と点のつなぎ役(技術的なスキルのある人など)</li> </ul>
6 団体F	50日以上 100日未満	100万以上 500万未満	100人以上 500人未満	10人以上 20人未満	20人以上 50人未満	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人材育成</li> <li>・会員・ボランティア募集・対応</li> <li>・会計管理・税務</li> </ul>	<p>&lt;人材&gt; 新陳代謝の難しさ/継続的に関わってくれる人材...主婦層(関心が高く子どもへも伝わる)、シニア層(時間があり経験・知識豊富)への働きかけ</p> <p>&lt;資金面&gt; 市からの委託料中心/会費収入の減少→イベント時での入会呼びかけ</p> <p>&lt;今後の方向性&gt; 環境問題に関する市施策の縮小化、予算縮減→将来的には解散も検討/新しい課題を見据えた新しい組織へのシフトチェンジ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民活動センターの設備充実(事務ブースの拡張、窓がない、防音対策、倉庫・ロッカーの増強)</li> <li>・新たな活動の立ち上げ支援</li> <li>・会計事務の支援</li> <li>・インキュベーションから成熟した団体への支援策を</li> </ul>

市民活動実態調査(ヒアリング)結果概要

・実施期間: H27.5.21~H27.6.28

・実施団体: 8団体

資料3

	活動日数	年間支出	会員数	役員数	参加ボランティア	課題(上位3つ)	課題(キーワード)	市やセンターに期待すること
7 団体G	200日以上 300日未満	100万以上 500万未満	100人以上 500人未満	10人以上 20人未満	100人以上 500人未満	・事業の周知・広報	<p>&lt;周知・広報&gt; 活動内容の周知方法→リーフレットの作成/地域の若い世代へ助け合いの輪を広げる方法→関心の高い「食」をテーマにした取組(野菜販売、味噌作り等)</p> <p>&lt;人材&gt; 少ない男性会員をどう活動の場に繋げるか→男性ならではの発想を活かした企画提案、男の居場所クラブの発足</p> <p>&lt;他団体との連携&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多方面とのつながりを広げるため、市の仲介が必要(相手方への信頼) 例:農家とNPOとのコーディネートなど</li> <li>・他団体同士をつなげる機会を</li> </ul>
8 団体H	300日以上	5000万 以上	50人以上 100人未満	5人以上 10人未満	50人以上 100人未満	・人材育成 ・助成金等の獲得 ・組織内コミュニケーション	<p>&lt;人材育成&gt; 個の力を育てる/情報収集にとどまらず、発想力、思考力を蓄えて現場に望む力(形にする力)が必要</p> <p>&lt;資金面&gt; 自立する力、社内ベンチャー/補助金頼みでは雇用継続が難しい→短期的:助成金獲得、長期的:自立できるビジネス/スタッフに補助金申請の課題を課すことで財政マネジメントの必要性を共有</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの取組は全国共通の課題。地域福祉に関する情報提供が必要。</li> <li>・起業や財政基盤の確保のためのアイデア</li> <li>・マネジメントの交流の場</li> </ul>